

座席配置図

○各グループ2～4人
○グループの間隔は1列空ける

○A・E・J・Oは1列目から

O 千葉
小中高

J 神奈川
中高 国

E 東京都
中高 国

A 東京都
小

講師席

P さいたま市
小中高

K 神奈川
中高 英社

F 東京都
中高 数社

B 東京都
小

Q 埼玉県
小

L 横浜
小

G 神奈川
小

C 東京都
小

R 埼玉県
中高

M 横浜
小

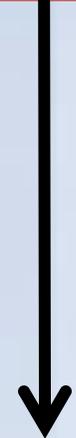
H 神奈川
小

D 東京都
中高 英

S 青森愛知

N 横浜
中高 英社

I 神奈川
中高 国



令和5年度白亜の会 論文対策講座

論文の書き方（テーマをどう捉え論述するか）

傾向と対策

青山学院大学卒業生教職員校友白亜の会

副会長 齊藤 進

東京都選考制度の見直し（6年度採用）

- 大学3年生等一次選考で教職教養・専門教養受験可能。
「選考通過者」は翌年論文選考。合格者は二次面接。
- 集団面接廃止、個人面接のみ。（十分に能力実証が図れるよう面接内容を充実）

神奈川県、横浜市、千葉県、千葉市等も同様の動き

論文対策講座の内容

- 1 講義（模擬授業を含む）
（休憩）
- 2 個人・グループワーク（適宜休憩）
- 3 論文演習（適宜休憩）

主体的・対話的で深い学びの視点に立って

1 講義

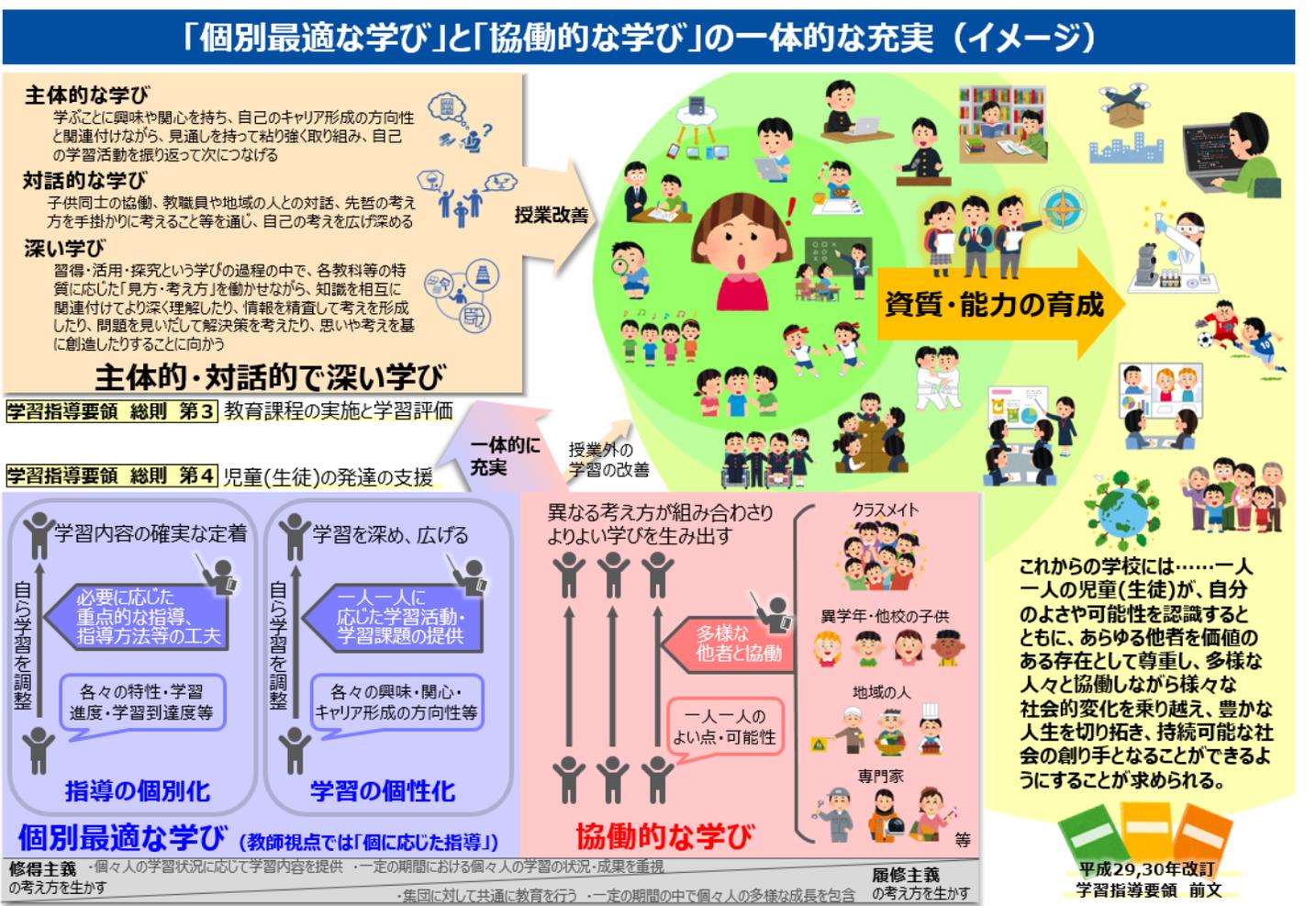
論文の書き方

資料参照

- 序論 (20%) : 論文題の受け止めと課題解決への方向性
- 本論 (70%) : 課題解決策2つ(東京都)、1つ(神奈川県など)
- 結論 (10%) : 課題解決・教師となる決意

文科省が示すこれからの教育の方向性

令和の日本型学校教育



令和2年9月11日
第13回特別部会

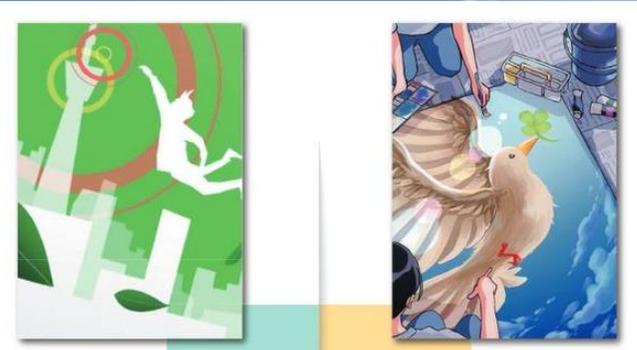
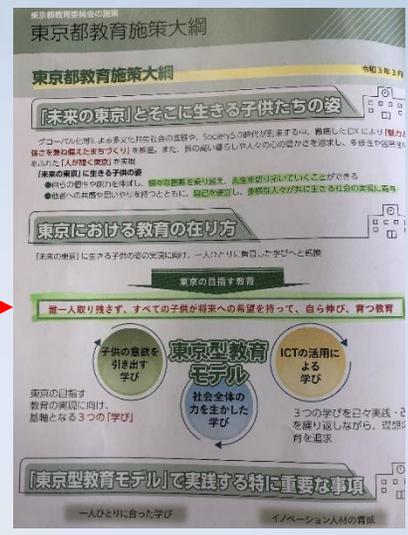
令和3年1月26日
中央教育審議会

誰一人取り残さない

※本資料は、「教育課程部会における審議のまとめ」（令和3年1月25日中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会）に基づき、概念を簡略化し図等として整理したものである。

個別最適な学びと協働的な学びの背景(東京都教育施策大綱 令和3年3月)

東京の目指す教育



誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って自ら伸び、育つ教育を目指して

東京都教育施策大綱



誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育

Sustainable Development Goals(SDGs)

2015年の国連総会で、「誰一人取り残さない」を理念に、国際社会が2030年までに貧困を撲滅し、持続可能な社会を実現するための重要な指針として、17の持続可能な開発目標(ゴール)と169のターゲットが設定されました。SDGsをキーワードに、多様なネットワークと協働しながら、一人でも多くの人々が幸せを感じることができる社会を目指します。

文科省が示すこれからの教育の方向性

○これからの社会と国民の求める学校像

- 「知識基盤社会」の到来、グローバル化、情報化、少子化、高齢化、社会全体の高学歴化等、社会構造の大きな変動期。
- **心豊かに、たくましく生き抜いていく基礎を培うことの重要性。**
- 社会の大きな変動に伴い、保護者や国民の間に、学校に対して、**必要な学力や体力、道徳性等**を確実に育成する質の高い教育を求める声。

○学習プロセス等の重要性を踏まえた検討

これまでに獲得した**知識や技能だけでは必ずしも十分ではないという問題意識**を生じさせ、必要となる知識や技能を獲得し、さらに試行錯誤しながら**問題の解決に向けた学習活動**を行い、その上で自らの学習活動を振り返って次の学びにつなげるといふ、深い学習のプロセスが重要である。

文科省が示すこれからの教育の方向性

○育成すべき資質・能力

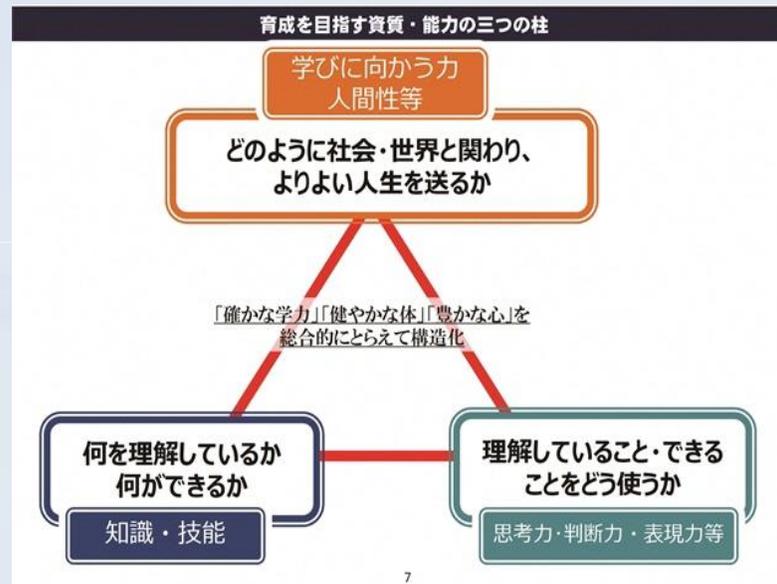
- 主体的に判断できる人間。
- 対話や議論を通じて多様な相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりし、多様な人々と協働していくことができる人間。
- 問題の発見・解決。
- 学校教育法第30条第2項が定める学校教育において重視すべき三要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」）。
- 理数科目等に関する学習への関心を高める。
- ICTの急速な進展などにより、高度な技術を理解し使いこなす科学的素養。
- 言語に関する能力の向上。

学習指導要領：児童生徒に知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育むことを目指す

すべての内容を3本柱に集約

新学習指導要領では、知・徳・体にわたる「生きる力」を育み、「**主体的・対話的で深い学び**」を実現すること。そのためには「何のために学ぶのか」という学習の意義を共有すること、授業の創意工夫や教科書等の教材の改善を行うことが必要。その実現に向けた全教科の目標や内容の集約。

- ①知識や技能
- ②思考力、判断力、表現力
- ③学びに向かう力、人間性



この教科書のしくみ

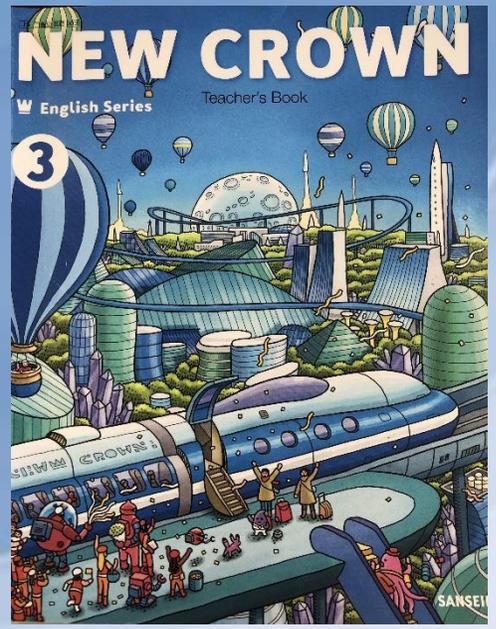
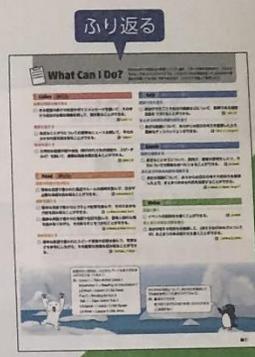
学 学びに向かう力・人間性

題材
 【ことば】 Languages in India
 【社会】 The Story of Sadako
 【社会】 I Have a Dream
 【学び】 Imagine to Act
 その他：学校、生活、異文化理解、自然科学、文学

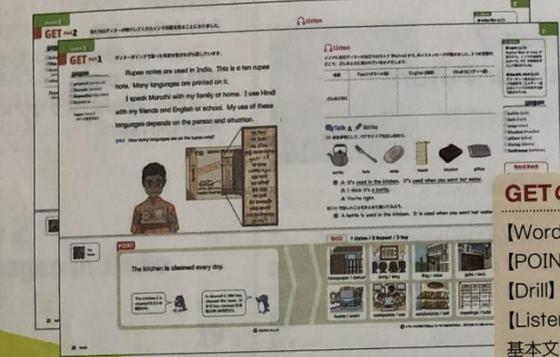


思 思考力・判断力・表現力

Project
 ① 新商品の提案 (Lesson 1~2のまとめ)
 ② 国際イベントの企画提案 (Lesson 3~5のまとめ)
 ③ ディスカッション (Lesson 6~7のまとめ)



学習の見通しを立てる

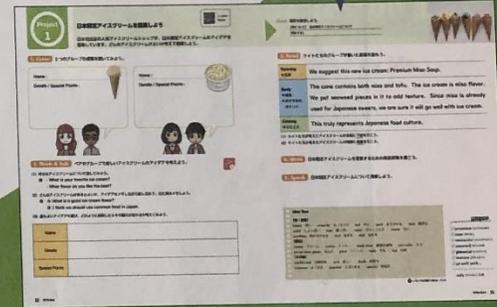


GETの構成
 【Words】 新しい語句や表現
 【POINT】 ターゲットとなる基本文
 【Drill】 基本文をくり返し練習
 【Listen / Speak / Talk / Write】 基本文を短い文脈の中で活用・練習

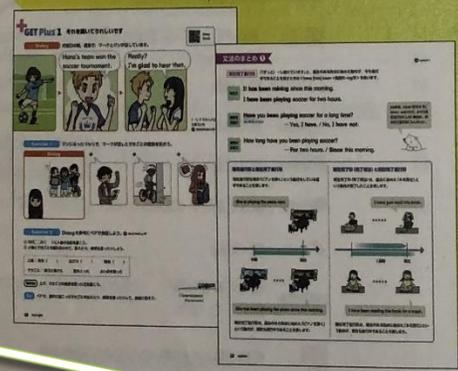


USE Speak / Writeの活動
Speak
 ・おすすめ曲
 ・20歳の自分へのメッセージ
Write
 ・おすすめの本
 ・自己PRカード
 ・英語の詩

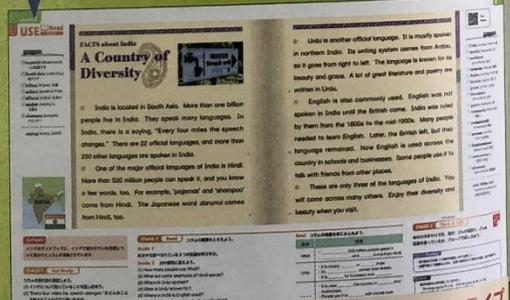
聞く・読む・話す・書く



基礎を身につける

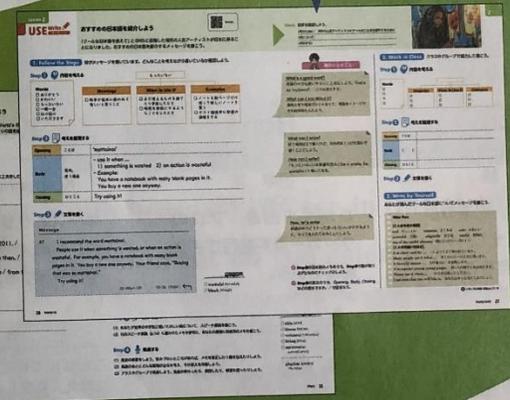


読む

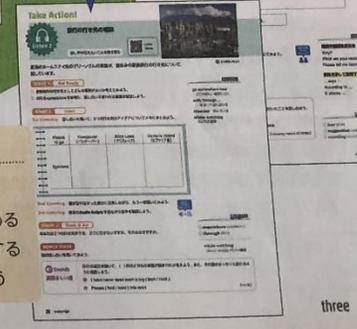


USE Readのテキストタイプ
 ・インドのガイドブック (L2)
 ・資料館のパンフレット (L3)
 ・海外の雑誌記事 (L4)
 ・公民権運動の本 (L5)
 ・卒業スピーチの原稿 (L6)

話す【発表】



聞く



Take Action! Listen / Talk

Listen
 ・遊難訓練の放送
 ・ディスカッション
 ・ボイスメッセージ
Talk
 ・詳しい説明を求める
 ・交通経路を説明する
 ・自分の意見を言う

論文問題は教育課題を踏まえた文科省および各自治体の教育の方向性および教育施策に関連して出題される

学校の教育課題とは

①学力向上

②児童・生徒の健全育成（いじめ、不登校、自殺、特別支援教育など）

①、②については東京都（小：学習面、生活面）東京都（中・高：A,B問題選択）。その他多くの自治体で出題。

①学力向上

②児童・生徒の健全育成（いじめ、不登校、自殺、特別支援教育など）

なぜ学力向上が求められるか
そもそも学力とは何か

PISA学力調査 (Programme for International Student Assessment OECD加盟国)
15歳 (高校1年生) 対象 3年に1回実施 国際的な学習到達度テスト
読解力、数学的リテラシー、科学的リテラシーの3分野の習熟度を調査する試験

2018調査では2015の調査より読解力が8位から15位へ後退
思考力や応用力が問われる自由記述問題への回答率の低さ
授業でのICT機器の活用調査について、日本はOECD加盟国で最下位の利用率

知識習得の学習だけではなく主体的・対話的で深い学びを実現する学習
「思考力・判断力・表現力等の育成」

文科省の国立教育政策研究所：自分の考えを他者に伝える能力に課題

2020新学習指導要領に反映（文部科学大臣）

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善や、言語能力、情報活用能力育成のための指導の充実
学校における一人一台のコンピュータの実現等のICT環境の整備と効果的な活用等

単に知識習得の学習ではなく主体的・対話的・深い学びを実現する学習
「思考力・判断力・表現力等の育成」が求められる

次のPISAではプログラミング的思考が問われる
コンピューテーショナルシンキングで求められる論理的なものの考え方や問題解決能力の育成

コンピューテーショナルシンキングとは、「コンピューターの仕組みに関する知識」や「プログラミング教育」にとどまらず、

- 問題を発見する力
- コンピューターを活用した課題の分析と、コンピューターを活用した問題解決アイデアの発想力
- アイデア実現するための思考力・表現力
- 粘り強く仲間と協働して成し遂げる態度

学力とは何か（文科省）

- 1 知識・技能
- 2 思考力、判断力、表現力
- 3 課題発見・問題解決能力
- 4 学ぶ意欲、学び方

情報活用能力 ⇒ 課題発見・問題解決能力を支える基盤（文科省）

言語能力 ⇒ 学力を支える重要な要素（文科省）

令和元年度(平成31年度)の東京都公立学校教員採用候補者選考1次試験の論文問題 A(中・高)

次の記述を読み、下の問題について、論述しなさい。

年度初めの職員会議で、教務主任から、「昨年度末に行われた教科主任会で、複数の教科主任から『身に付けた知識及び技能を活用して自分の意見を言ったり、説明したりすることができない生徒が多い』や『習得した知識を相互に関連付けて、課題を解決することができない生徒が多い』といった意見が挙がりました。そこで、今年度、各教科等の指導において、『各教科・科目等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせて、自ら問いを見いだし探究する力を育成する。』を重点事項にしたいと思います。」と報告があった。職員会議終了後、教務主任からあなたに、「先ほどの重点事項に基づいて、どのように学習指導に取り組んでいくか、具体的に考える必要がありますね。」と話があった。

主体的・対話的で深い学びの視点(山口先生より 第1回論文対策講座)

堀川の奇跡

京都市立堀川高校探求科

堀川の授業は前期と後期に分かれている。10～12日はその中間の秋休みだ。入学すると、まず自らが何を探究するかを考える。前期には研究テーマの設定の仕方や、活動の進め方、論文の書き方、参考文献の引用のやり方など、探究の「型」を学ぶ。

後期から9つに分かれたそれぞれのゼミに入る。ゼミは国英数や物理、化学など従来の科目に即した形で構成されるが、1年の1～2月ぐらいに研究テーマを徹底的にもむ。ポイントは「絶対にオリジナルの研究テーマでなくてはなりません。大学の研究論文かなんかのコピペではダメです」と恩田校長は強調する。

文科省の学力向上の方向性がどのように論文問題に反映されているか

2021 東京都(小学校)

あなたは、第5学年の学級担任である。年度初めの学年会で、昨年度の児童の課題に関する引継事項として、学年主任から、「学習面では、**授業のめあてを達成できない児童**がいる一方で、**めあてに到達すると、それ以上は、取り組まない児童**がいます。また、生活面では、**相手の身になって考えることが苦手な児童**が多く見られます。」と報告があった。この引継事項を踏まえ、話し合いを行った結果、学年主任から、「今年度の学年経営の方針を、『**教師と児童との信頼関係を築き、児童相互のよりよい人間関係を育てる**』とします。」と示された。学年会終了後、学年主任からあなたに、「先ほどの学年経営の方針に基づいて、主に集団の場面で、必要な指導や援助を具体的にどのように行えば学級経営の充実が図れるか、一緒に考えてみませんか。」と話があった。

(問題)

学年主任の発言を受けて、あなたなら学級担任としてどのように学級経営を行っていくか、学習面と生活面について具体的な方策を一つずつ挙げ、それぞれ10行(350字)程度で述べなさい。その際、その方策を考える上での問題意識を明確にし、全体で30行(1,050字)以内で論述しなさい。ただし、26行(910字)を超えること。

(視点) : ○学力差、学習意欲、個に応じた指導(個別最適な学び、協働的な学び)など
○いじめ、人権教育の指導基本理念(協力、参加、体験)、道徳教育など

1 知識・技能 2 思考力、判断力、表現力 3 課題発見・問題解決能力 4 学ぶ意欲、学び方

誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育

2022 東京都(小学校)

あなたは、第5学年の学級担任である。

年度初めの学年会における話合いの中で、学年主任から、「授業には真面目に取り組めますが、自ら進んで、学習する**意欲**に課題が見られます。」と報告があった。また、他の教員からは、「自分から興味・関心をもって学習し、疑問を調べて解決することに消極的です。」や「当番や係などの活動でも、もっと自分なりに工夫して積極的に取り組ませたいですね。」という意見もあった。

まとめに、学年主任から今年度の学年経営の方針の一つとして、「**自主的、自発的に学習したり活動したりする力を育む**」が示された。学年会終了後、学年主任からあなたに、「先ほどの学年経営の方針に基づいて、学級経営の重点をどこに置き、どのように取り組んでいくか、具体的に考える必要がありますね。」と話があった。

問題

この事例の学校において、あなたは学級担任としてどのように学級経営を行っていくか、課題を明確にした上で、具体的な方策を二つ挙げ、それぞれ 10 行(350 字)程度で述べなさい。また、まとめを含め、全体で 30 行(1,050 字)以内で論述しなさい。ただし、26 行(910 字)を超えること。

(文科省) : 単に知識習得の学習ではなく**主体的・対話的・深い学び**を実現する学習
「**思考力・判断力・表現力等の育成**」

1 知識・技能 2 思考力、判断力、表現力 3 課題発見・問題解決能力 4 学ぶ意欲、学び方

誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育

2021 東京都(中・高) A問題

年度初めの職員会議で、教務主任から、昨年度末に実施した生徒アンケートでは、「自分の考えや質問を述べて、積極的に授業に参加している」や「根拠や理由を明確にして自分の考えを述べることができる」に肯定的な回答をした生徒が少なかったこと、また、教科主任会では、複数の教科主任から、「授業で学んだ内容を自分なりに解釈したり、これまで学習した知識と結び付けて自分の考えを形成したりすることができていない」ことが課題として挙げられたとの報告があった。その上で、教務主任から、「今年度、各教科等の指導において、『言語活動の充実を図り、言語能力の向上を目指す』を重点事項にしたいと思います。」と示された。職員会議終了後、教務主任からあなたに、「先ほどの重点事項に基づいて、どのように学習指導に取り組んでいくか、具体的に考える必要がありますね。」と話があった

問題

教務主任の発言を受けて、あなたならどのように学習指導に取り組んでいくか、志望する校種と教科等に即して、具体的な方策を二つ挙げ、それぞれ10行(350字)程度で述べなさい。また、その方策を考える上での問題意識を明確にし、全体で30行(1,050字)以内で論述しなさい。ただし、26行(910字)を超えること

言語能力 ⇒ 学力を支える重要な要素 (文科省)

(文科省) : 単に知識習得の学習ではなく主体的・対話的・深い学びを実現する学習
「思考力・判断力・表現力等の育成」

1 知識・技能 2 思考力、判断力、表現力 3 課題発見・問題解決能力 4 学ぶ意欲、学び方

誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育

2022 東京都A問題

年度初めの職員会議で、教務主任から、「昨年度に実施した生徒アンケートで、進度が自分に合っていないと回答した生徒が少なくありませんでした。」と報告があった。また、複数の教科主任からは、「自分に合った勉強方法を見付けられていない生徒が多いですね。」や「生徒の特性を十分理解した指導を行う必要がありますね。」という意見もあった。

最後に、教務主任から、今年度の各教科等の指導における重点事項の一つとして、「**個に応じた指導の充実を図る**」が示された。職員会議終了後、教務主任からあなたに、「先ほどの重点事項に基づいて、どのように学習指導に取り組んでいくか、具体的に考える必要がありますね。」と話があった。

問題

この事例の学校において、あなたはどのように学習指導に取り組んでいくか、志望する校種と教科等に即して、課題を明確にした上で、具体的な方策を二つ挙げ、それぞれ 10 行(350 字)程度で述べなさい。また、まとめを含め、全体で 30 行(1,050 字)以内で論述しなさい。ただし、26 行(910 字)を超えること。

個別最適な学び、協働的な学び

(文科省) : 単に知識習得の学習ではなく**主体的・対話的・深い学び**を実現する学習
「**思考力・判断力・表現力等の育成**」

1 知識・技能 2 思考力、判断力、表現力 3 課題発見・問題解決能力 4 学ぶ意欲、学び方

誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（イメージ）

主体的な学び

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる

対話的な学び

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める

深い学び

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう

主体的・対話的で深い学び

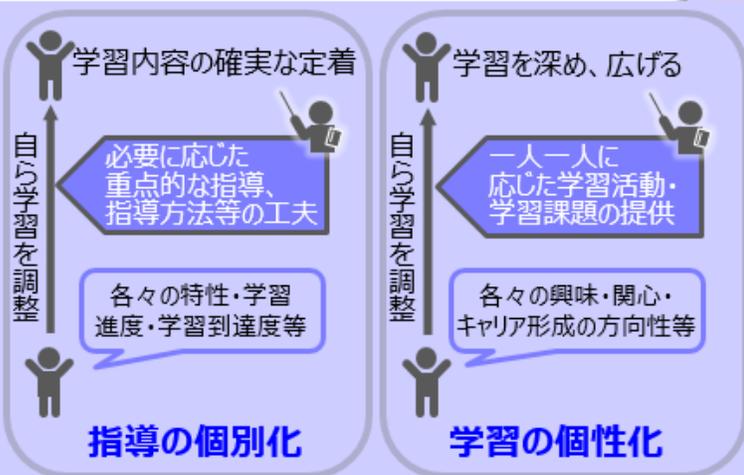
学習指導要領 総則 第3 教育課程の実施と学習評価

学習指導要領 総則 第4 児童(生徒)の発達の支援

授業改善

一体的に
充実
授業外の
学習の改善

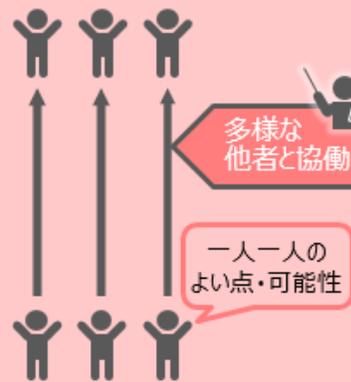
資質・能力の育成



個別最適な学び (教師視点では「個に応じた指導」)

獲得主義 個々人の学習状況に応じて学習内容を提供 ・一定の期間における個々人の学習の状況・成果を重視
の考え方を生かす

異なる考え方が組み合わせり
よりよい学びを生み出す



協働的な学び



これからの学校には……一人一人の児童(生徒)が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

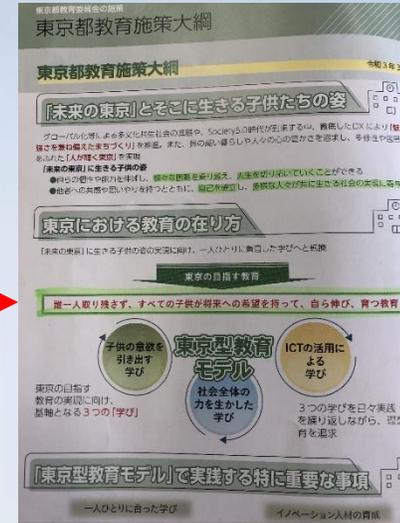
平成29,30年改訂
学習指導要領 前文

・集団に対して共通に教育を行う ・一定の期間の中で個々人の多様な成長を包含

履修主義
の考え方を生かす

個別最適な学びと協働的な学びの背景(東京都教育施策大綱 令和3年3月)

東京の目指す教育



誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って自ら伸び、育つ教育を目指して

東京都教育施策大綱



令和3年3月
東京都

誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育

Sustainable Development Goals(SDGs)

2015年の国連総会で、「誰一人取り残さない」を理念に、国際社会が2030年までに貧困を撲滅し、持続可能な社会を実現するための重要な指針として、17の持続可能な開発目標(ゴール)と169のターゲットが設定されました。SDGsをキーワードに、多様なネットワークと協働しながら、一人でも多くの人々が幸せを感じることができる社会を目指します。

各自治体の論文問題

○令和3年度神奈川県(小中高共通) 60分

神奈川県では、児童や学校等の実態に応じ、教材・教具や学習ツールの一つとしてICTを積極的に活用し、必要な資質・能力を育成する**主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善**に取り組んでいます。

このことを踏まえ、あなたは、ICT活用の利点を生かした授業実践にどのように取り組めますか。ICTを活用する意義やねらいとともに、あなたの考えを600字以上825字以下で具体的に述べなさい。

○令和4年度神奈川県(小中高共通) 60分

神奈川県では、児童(生徒)の発達段階に応じて、**人権に関する理解を深め、人権尊重の意識を高め、一人ひとりを大切にする教育**を推進しています。

このような教育を推進するために、あなたはどのような姿勢や意識をもつことが大切だと思いますか。また、そのことを踏まえ、どのような教育活動に取り組めますか。600字以上825字以下で具体的に述べなさい。

誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育

各自治体の論文問題

○令和4年度 横浜市(小中高共通) 30分

「多様性を尊重し、つながりを大切にした教育を推進します」

多様性を尊重し、つながりを大切にしながら、次の四つの方向性に沿って施策や取組を進めます。

- ①子どもの可能性を広げます
- ②魅力ある学校をつくります
- ③豊かな教育環境を整えます
- ④社会全体で子どもを育みます

上記の方向性①～④のうち一つを選び、あなた自身のよさや強みを生かして、どのようなことに取り組みたいと考えるか、400字以上500字以内で具体的に述べなさい。

誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育

各自治体の論文問題

○令和4年度埼玉県(小学校・中学校・養護教諭・栄養教諭) 制限時間は60分、字数は800字程度とする。

【問題】

埼玉県教育委員会が求める教師像3つの中の1つに「健康で、明るく、人間性豊かな教師」があります。あなたは、このことをどのように捉えますか。あなたの考えを述べなさい。また、あなたは「健康で、明るく、人間性豊かな教師」であるために、日々、どのような努力をし、どのような教育実践をしていきますか。具体的に述べなさい。

○令和4年度埼玉県(高等学校) 制限時間は60分、字数は800字程度とする。

【問題】

埼玉県教育委員会では、令和3年2月に埼玉県教職員MOTTO(モットー)「未来を創る、こどもたち。未来を育てる、わたしたち。～未来への責任～」を策定しました。あなたは、この埼玉県教職員MOTTO(モットー)をどのようにとらえますか。あなたの考えを述べなさい。また、そのことを踏まえ、あなたは教員としてどのように教育活動に取り組んでいきますか。具体的に述べなさい。

誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育

各自治体の論文問題

○千葉県 2020

【問題】

千葉県・千葉市では平成30年3月に「千葉県・千葉市教員等育成指針」を策定しました。その中の「**教員等が身に付けるべき資質能力の4つの柱**」の一つに、**学習指導**に関する実践的指導力を掲げています。これを踏まえ、あなたはどのような授業実践を行いますか。また、教員生活を通じてどのように授業力向上に取り組みますか。新学習指導要領で示されている「**育成を目指す資質・能力**」にもふれながら800字以内で書きなさい。

「主体的・対話的で深い学び」の説明文

誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育

主体的・対話的で深い学びとは何か

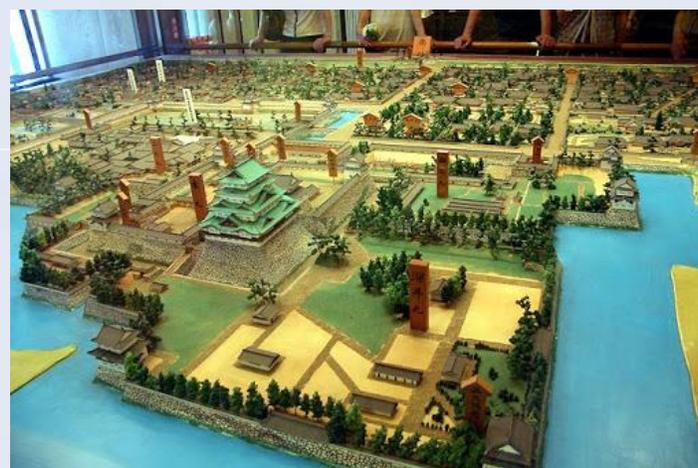
国立教育政策研究所

	授業改善に向けた『学習者』の視点	授業改善に向けた『授業者』の視点
主体的な学び	<ul style="list-style-type: none"> ● 学ぶことに興味や関心を持つ ● 自己のキャリア形成の方向性と関連付ける ● 見通しをもつ ● 粘り強く取り組む ● 自己の学習活動を振り返って次につなげる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 既習事項を振り返る ● 具体物を提示して引きつける ● 子供が明らかにしたくなる学習課題を設定する ● 子供が自らめあてをつかむようにする ● 学習課題を解決する方向性について見通しを持たせる ● 子供が自分の考えを持つようにする ● 子供の思考を見守る ● 子供の思考に即して授業展開を考える ● 子供の考えを生かしてまとめる ● その日の学びを振り返る ● 新たな学びに目を向けさせる
対話的な学び	<ul style="list-style-type: none"> ● 子供同士の協働を通じ、自己の考えを広げ深める ● 教職員との対話を通じ、自己の考えを広げ深める ● 地域の人との対話を通じ、自己の考えを広げ深める ● 先哲の考え方を手掛かりに考える 	<ul style="list-style-type: none"> ● 思考を交流させる ● 交流を通じて思考を広げる ● 協働して問題解決する ● 板書や発問で教師が子供の学びを引き出す
深い学び	<ul style="list-style-type: none"> ● 各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせる知識を相互に関連付けてより深く理解する ● 情報を精査して考えを形成する ● 問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう 	<ul style="list-style-type: none"> ● 資質・能力を焦点化する(つきたい力を明確にする) ● 単元や各授業の目標を把握する ● ねらいを達成した子供の姿を具体化する ● 教材の価値を把握する ● 単元及び各時間の計画を立てる ● 目標の達成状況を評価する

模擬授業

主体的・対話的で深い学びとは
(中学校社会科歴史)

山城 vs 平城 どちらをつくるか



Q 1 城は何のためにつくられるのか。

A 殿様を守るため。

Q 2 ある戦国武将とは誰か。

A 織田信長。

Q 3 なぜ信長は平城をつくらせたか。

A 防御する必要がなくなった。

Q4 なぜ防御する必要がなくなったのか。

A 鉄砲。

Q5 鉄砲1丁いくら？

A 諸説あり。

Q6 なぜそれだけの資金があったのか。
信長の施策とはなにか。

A 楽市楽座、南蛮貿易等。



本日の学習

- 1 信長全国統一への動き
- 2 楽市・楽座

学力向上の視点 山城 VS 平城 どちらをつくるか

知識・技能 : 信長全国統一への動き、楽市・楽座

思考力 : 山城か平城かの理由(メリット・デメリット)

判断力 : どちらがよいか判断

表現力 : 判断結果・理由発表

学ぶ意欲・学び方 : 誰でも参加できる。他者と意見交換
話し合い

課題発見・問題解決能力 : どのように鉄砲資金を調達したか
(疑問等) なぜ平城が信長以降広まったか

樂市・樂座

(東京書籍歴史教科書)



戦図屏風 愛知県 徳川美術館蔵 左側が織田・徳川の連合軍、右側が武田軍です。

豊臣秀吉の統一事業

織田信長と豊臣秀吉は、どのように全国統一を進めたのでしょうか。

織田信長の統一事業

尾張(愛知県)の小さな戦国大名だった織田信長は、駿河(静岡県)の大名今川義元を桶狭間の戦い(愛知県)で破って勢力を広げ、足利義昭を援助して京都に上りました。信長は、朝廷に働きかけて義昭を室町幕府の第15代将軍にし、政治の実権をにぎりました。しかし、二人は間もなく対立するようになり、1573年、信長は義昭を京都から追放しました(室町幕府の滅亡)。

織田軍と武田軍の取りま

重

信長は、大名だけでなく、比叡山延暦寺や一向一揆などの仏教勢力も、敵対すれば武力で従わせました。長篠の戦い(愛知県)では鉄砲を有効に使って、甲斐(山梨県)の大名武田勝頼を破り、翌年から、巨大な天守を持つ城を安土(滋賀県)に築きました。信長は、城下町や領地の経済的発展を図るため、商工業者に自由な活動を行わせようとした。安土では市での税を免除し、特権的な座を廃止しました(樂市・樂座)。また、通行料を取り流通のさまたげとなっていた関所も廃止しました。

豊臣秀吉の全国統一

全国統一を目前にした信長は、1582年、家臣の明智光秀に背かれて本能寺で自害した。

授業展開の特徴

- 1 違った意見を聞くことができる
- 2 できない生徒も参加できる
- 3 良い意見も出る
- 4 誰でも参加できる

まず、絵や写真から。思考・表現(発表)
 ・探求を経て、最後に教科書。
 最初から楽市・楽座などを説明すると生徒は寝てしまう。

歴史全般に興味関心・学ぶ意欲が高まる可能性。知識だけでなく史実を様々な角度から考え捉えようとする。思考力、情報活用能力、課題発見問題解決能力等求められる学力（主体的・対話的で深い学び）が身に付く。

	授業改善に向けた『学習者』の視点	授業改善に向けた『授業者』の視点
主体的な学び	<ul style="list-style-type: none"> ●学ぶことに興味や関心を持つ ●自己のキャリア形成の方向性と関連付ける ●見通しをもつ ●粘り強く取り組む ●自己の学習活動を振り返って次につなげる 	<ul style="list-style-type: none"> ●既習事項を振り返る ●具体物を提示して引きつける ●子供が明らかにしたくなる学習課題を設定する ●子供が自らめあてをつかむようにする ●学習課題を解決する方向性について見通しを持たせる ●子供が自分の考えを持つようにする ●子供の思考を見守る ●子供の思考に即して授業展開を考える ●子供の考えを生かしてまとめる ●その日の学びを振り返る ●新たな学びに目を向けさせる
対話的な学び	<ul style="list-style-type: none"> ●子供同士の協働を通じ、自己の考えを広げ深める ●教職員との対話を通じ、自己の考えを広げ深める ●地域の人との対話を通じ、自己の考えを広げ深める ●先哲の考え方を手掛かりに考える 	<ul style="list-style-type: none"> ●思考を交流させる ●交流を通じて思考を広げる ●協働して問題解決する ●板書や発問で教師が子供の学びを引き出す
深い学び	<ul style="list-style-type: none"> ●各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせる知識を相互に関連付けてより深く理解する ●情報を精査して考えを形成する ●問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう 	<ul style="list-style-type: none"> ●資質・能力を焦点化する(つきたい力を明確にする) ●単元や各授業の目標を把握する ●ねらいを達成した子供の姿を具体化する ●教材の価値を把握する ●単元及び各時間の計画を立てる ●目標の達成状況を評価する

授業力とは

児童・生徒が分かりやすく（分かる喜び）、楽しい（学ぶ楽しさ）と感じる授業を展開する力であり、学力を向上させる力。

休憩 (10分)



2 個人・グループワーク（小学校）ワークシート

2022 東京都(小学校)

あなたは、第5学年の学級担任である。

年度初めの学年会における話合いの中で、学年主任から、「授業には真面目に取り組めますが、自ら進んで、学習する意欲に課題が見られます。」と報告があった。また、他の教員からは、「自分から興味・関心をもって学習し、疑問を調べて解決することに消極的です。」や「当番や係などの活動でも、もっと自分なりに工夫して積極的に取り組ませたいですね。」という意見もあった。

まとめに、学年主任から今年度の学年経営の方針の一つとして、「自主的、自発的に学習したり活動したりする力を育む」が示された。学年会終了後、学年主任からあなたに、「先ほどの学年経営の方針に基づいて、学級経営の重点をどこに置き、どのように取り組んでいくか、具体的に考える必要がありますね。」と話があった。

問題

この事例の学校において、あなたは学級担任としてどのように学級経営を行っていくか、課題を明確にした上で、具体的な方策を二つ挙げ、それぞれ 10 行(350 字)程度で述べなさい。また、まとめを含め、全体で 30 行(1,050 字)以内で論述しなさい。ただし、26 行(910 字)を超えること。

2 個人・グループワーク（中・高） ワークシート

2022 東京都A問題

年度初めの職員会議で、教務主任から、「昨年度に実施した生徒アンケートで、進度が自分に合っていないと回答した生徒が少なくありませんでした。」と報告があった。また、複数の教科主任からは、「自分に合った勉強方法を見付けられていない生徒が多いですね。」や「生徒の特性を十分理解した指導を行う必要がありますね。」という意見もあった。

最後に、教務主任から、今年度の各教科等の指導における重点事項の一つとして、「個に応じた指導の充実を図る」が示された。職員会議終了後、教務主任からあなたに、「先ほどの重点事項に基づいて、どのように学習指導に取り組んでいくか、具体的に考える必要がありますね。」と話があった。

問題

この事例の学校において、あなたはどのように学習指導に取り組んでいくか、志望する校種と教科等に即して、課題を明確にした上で、具体的な方策を二つ挙げ、それぞれ 10 行(350 字)程度で述べなさい。また、まとめを含め、全体で 30 行(1,050 字)以内で論述しなさい。ただし、26 行(910 字)を超えること。

各グループから具体策などを発表

3 論文演習（適宜休憩）

このあと説明する論文を参考にして原稿用紙または、タブレット等に論文を記述してください。（資料参照）

- 東京都の小学校受験者はワークシートにある2022の東京都問題（小学校）
- 各都県の中・高受験者はワークシートにある2022の東京都のA問題
- その他小学校受験者は上記どちらかの問題

2022 東京都A問題 添削論文

年度初めの職員会議で、教務主任から、「昨年度に実施した生徒アンケートで、進度が自分に合っていないと回答した生徒が少なくありませんでした。」と報告があった。また、複数の教科主任からは、「自分に合った勉強方法を見付けられていない生徒が多いですね。」や「生徒の特性を十分理解した指導を行う必要がありますね。」という意見もあった。

最後に、教務主任から、今年度の各教科等の指導における重点事項の一つとして、「個に応じた指導の充実を図る」が示された。職員会議終了後、教務主任からあなたに、「先ほどの重点事項に基づいて、どのように学習指導に取り組んでいくか、具体的に考える必要がありますね。」と話があった。

問題

この事例の学校において、あなたはどのように学習指導に取り組んでいくか、志望する校種と教科等に即して、課題を明確にした上で、具体的な方策を二つ挙げ、それぞれ 10 行(350 字)程度で述べなさい。また、まとめを含め、全体で 30 行(1,050 字)以内で論述しなさい。ただし、26 行(910 字)を超えること。

序論

近年、生徒の学習の習熟度に差(生徒間の学力差)が生まれている現状(〇〇調査によるとなどの根拠があるとより説得力があります)があり、それによる学習意欲の低下が問題視されている。そのため、学校教育では、誰一人取り残さないための、個に応じた指導が必要であると考え。私は、中学校国語科教員として、以下の2つの取り組みを行う。

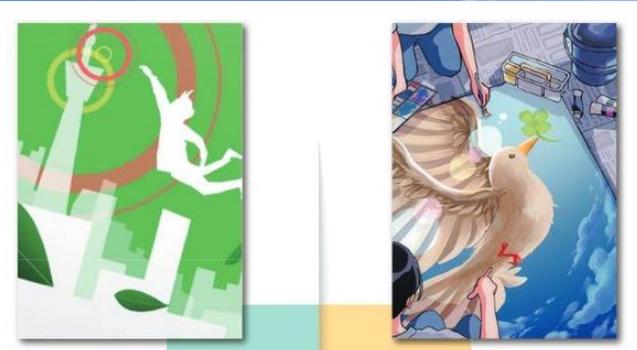
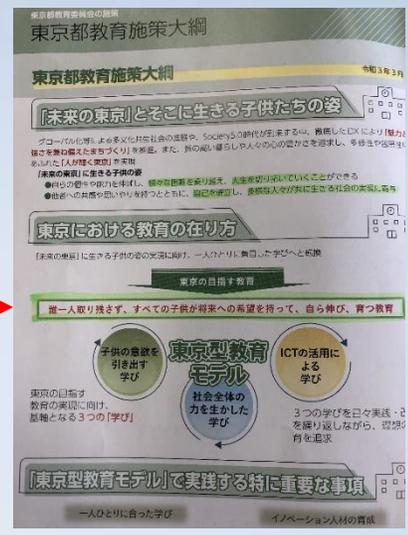
SDGsの理念にある

東京都教育施策大綱にある

全国学力学習状況調査等によると、近年、生徒間で学力や学習意欲に差異があることが指摘されている。こうした課題を改善するため、誰一人取り残さないという指導姿勢で個に応じた指導を行うことが必要であると考え。私は、中学校国語科教員として、以下、二つの取り組みを行う。

個別最適な学びと協働的な学びの背景(東京都教育施策大綱 令和3年3月)

東京の目指す教育



誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って自ら伸び、育つ教育を目指して

東京都教育施策大綱



誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育

Sustainable Development Goals(SDGs)

2015年の国連総会で、「誰一人取り残さない」を理念に、国際社会が2030年までに貧困を撲滅し、持続可能な社会を実現するための重要な指針として、17の持続可能な開発目標(ゴール)と169のターゲットが設定されました。SDGsをキーワードに、多様なネットワークと協働しながら、一人でも多くの人々が幸せを感じることができる社会を目指します。

本論

一つ目は、ICTを活用した調べ学習である。この活動によって、生徒の学習意欲の向上に繋げていく。これは、レポート作りという単元で行う。まず、調べるにあたって、例えば「人気のスポーツランキング」のような、自分の興味のあるテーマを自由に設定し、仮説(具体的には)を立てさせる。次に、ICTを活用して、級友へのアンケート調査と世の中の学生の意見を調査させる。そして、そこから得た結果と仮説の比較を通して、わかったことを結論としてまとめさせる。これらの活動を3時間で行い、最後に発表の時間を設けて成果を発表させる。(もう少し分かりやすく読み手がイメージし易くなりるように記述しましょう)

これは、私のボランティア先の中学校で実際に行われた活動である。生徒は、活動の中で意欲的に調査を行い、級友の発表にも関心を持って聞いていた。この活動によって、楽しく意欲的に学習に取り組むことができる。それに加え、情報活用能力の向上や根拠を持った主張の方法の習得にも繋がると私は考える。

一つ目は、ICTを活用した調べ学習である。この活動によって、情報活用能力と学習意欲の向上に繋げていく。これは、レポート作りという単元で行う。まず、調べるにあたって、例えば「人気のスポーツランキング」のような、自分の興味のあるテーマを自由に設定し、人気ベスト10など仮説を立てさせる。次に、級友へ人気スポーツは何か、その理由は何かなどアンケート調査を行うとともにインターネットを活用して小・中・高・大学生などの考えを調査させる。そして、そこから得た結果と自身の仮説を比較して人気の理由など明らかになったことをまとめさせる。最後に調査結果や仮説の是非などについて全体の前で発表させる。

これは、私のボランティア先の中学校で実際に行われた活動である。生徒は、活動の中で意欲的に調査を行い、級友の発表にも関心を持って聞いていた。この活動によって、楽しく意欲的に学習に取り組む態度が養われ、情報活用能力の向上や根拠を持った主張を築く力を身に付くことができる。

本論

2つ目は、級友と協働して課題に取り組む活動である。この活動は、生徒の学習の習熟度の差を踏まえて行い、生徒間の教え合いを通して、誰一人取り残さない学習に繋げていく。例えば、授業内に完成させて提出させる現代語の文法の問題プリントを用意し、取り組ませる。(語順の工夫)まずは一人で取り組ませる。次に、協働(誰と?)して取り組ませる。この協働の中で、生徒同士の教え合いや学び合いが行われる。教える側も教わる側も勉強になり、より深い学びになっていくと考えられる。この活動の際私は、机間巡視はもちろん、問題がわからないが周りに聞けずにいる生徒がいないか確認し、いた場合は助けを出す。この活動によって、学習の習熟度の差を生かしてお互いが高め合う形で学びを深めることができる。また、協働することを通して、助け合いの雰囲気醸成にも繋がると私は考える。

二つ目は、級友と協働して課題に取り組む活動である。この活動は、生徒の学力差を踏まえ、生徒間の教え合いを通して、誰一人取り残さない学習に繋げていく。例えば、現代語の文法の問題プリントを用意し授業内に完成させて提出させる。まずは一人で取り組ませる。次に、理解が早い生徒遅い生徒のペアをつくり協働して取り組ませる。協働学習を通して、生徒同士の教え合いや学び合いが行われる。教える側も教わる側もより深い学びになっていくと考えられる。私は適宜机間巡視を行い、問題がわからないが周りに聞けずにいる生徒にはヒントを与えるなどの支援を行う。こうした協働学習によって、互いが助け合い高め合いながら学びを深めることができる。

結論

これらの取り組みを通して、学習意欲の向上を図り、個に応じた指導を充実させていく。私は、生徒同士で楽しく学び、協働を通して高め合うことができるような授業を行い、学校生活全体に生かすことのできるような姿勢の育成を行う。そして、誰も取り残さない指導を実現させる。

私は、学習意欲の向上を図り、個に応じた指導を充実させていく。個別最適な学びや協働的な学びを通して生徒同士が楽しく学び合い、分かる授業に努め、誰一人も取り残さない指導を実現させる。

個々の子供に応じたきめ細かい指導を充実させ、学習内容の充実を図る。

PISA2015では、学力の上位層の割合がトップレベルの国や地域よりも低いことが指摘されている。これは、多くの教育現場において講義型の一斉授業が行われていることが原因であると考え。私は、生徒参加型の、主体的・対話的で深い学びを踏まえた授業改善が必須であると考え。私は、中学校数学科の教員として以下の取り組みを行う。(序論)

1.ペアワークを活用した授業

生徒一人ひとりが学習内容を定着させるためには、基礎問題を授業中に確実に習得することが重要である。例えば、連立方程式を学んだあとに、加減法と代入法の練習問題を解かせる。まずは一人で取り組ませる。そして、誰が当てられても、解法を説明できるようにと生徒に伝え、隣の席の人と確認させる。確認が終わったら、それぞれの問題で一人ずつ指名し、黒板に書かせながら解説をしてもらう。このように、となり同士で教え合う時間をとることで、解き方の確認はもちろん、細かいミスも見つけることができる。また、最後に繰り返し全体で解き方を確認することで、学習内容の定着を図る。

2.お助けカードを活用した授業

個々の子供に応じたきめ細かい指導を充実させるためには、生徒一人ひとりのつまずきポイントに合わせた指導を行うことが重要である。例えば、単元の終わりに生徒が苦手な問題を中心にまとめ問題を作成し、取り組ませる。生徒が問題を解いているときに机間巡視を行い、間違えていたり、手が止まっていたりする生徒にあらかじめ作成しておいたお助けカードを渡す。このお助けカードには、生徒がつまずきそうなポイントを何種類か予想しまとめてある。このように、一人ひとりのつまずきに合わせて指導をすることで、学習内容の定着が期待できる。また、カードにまとめることで、個別対応の時間が短縮でき、クラス全員に対してきめ細かい指導を充実させることができる。(本論)

良い授業とは、学ぶ楽しさ、分かる喜びが実感できる授業である。私は、休み時間に、授業で学んだ内容をつかって自分で問題をつくり、友達と出題しあうような生徒を育成したい。常に研究を怠らず、授業こそ命、という使命感を持つ教員になる。(結論)

【問題】さいたま市では「人生100年時代を豊かに生きる『未来を拓くさいたま教育』の推進を掲げ、やりぬく力で「真の学力」を育成することを進めています。あなたはこのことを踏まえ、教師としてどのように取り組んでいきますか。具体的に述べなさい。

技術革新やグローバル化が進む現代社会で豊かに生きるためには、「真の学力」として、やり抜く力を基盤に、思考力・判断力・表現力や課題発見・問題解決能力を育む必要があると考える。やり抜く力とは、継続的に粘り強く他者と協働して物事を遂行する力である。私は思考力・判断力・表現力を育む活動と課題解決力を育む授業づくりに取り組む。以下具体的に述べる。

1 思考力・判断力・表現力を育む活動

互いの違いやよさを認め合える学級では、児童が自分の存在感を感じ、意見を述べやすくなる。私は全教育活動を通して、安心感のある学級づくりに努める。週に1回、朝の会を利用し、学校生活における改善点について「ミニ討論会」を設定する。考えをまとめることで、児童の思考力を育む。また4人程度の小グループにおいて、自分の考えを相手に伝えることで、判断力や表現力を育むことができる。このように継続的に児童の思考力・判断力・表現力を育む。

1 課題解決力を育む授業

私は考えるプロセスを重視した問題解決的な学習を行う。社会科では、資料提示の仕方を工夫することで、児童の疑問を引き出し、学習問題を立てる。例えば平安時代から鎌倉時代、武士の立場が変わることに気づかせるため、2つの絵巻物を提示し、比較することで「武士はどのように力を付けたのか」という児童の疑問を引き出す。その疑問を学習問題として設定し、単元を通して話し合い、解決しながら授業を進める。このように継続的に問題解決の過程を重視することで、児童の課題解決力を育成することができる。

以上のように、児童が継続的に粘り強く、他者と協働して物事をやり遂げる力を育む。そのため「教師力」パワーアップ講座に参加するなど、自らが常に学び続け、児童の「真の学力」の育成に全力を注ぐ覚悟である。

【問題】 島根県の将来を担う子どもたちの育成をどう実践していきますか、800字程度で述べなさい

現在、島根県では人口の減少や少子高齢化などの課題がある。これらの課題を踏まえ、学校教育においては地域と連携して教育を行い、島根の将来を担う人材の育成が必要とされている。このような人材を育成していくために、中学校社会科教員として、以下の2点のことに力を入れて実践していく。

1. ふるさと学習を行う

私は、社会科の地域調査の分野や総合的な学習などを利用し、ふるさと学習に力を入れていく。5~6人のグループで地域（地域の文化や農産物・史跡文化財など何か具体例を述べると大変に説得力のある論文になります）についての調べ学習を行う。生徒が選択肢の中から分野を選び、図書館やICT機器を用いて調べる。その後、現状についての課題を見つけ、具体的な解決策などについて話し合い、グループごとに発表を行う。最後に一人一人がまとめを行う。この活動により、生徒がふるさとに興味・関心（良い）を持つことができる。また、地域の課題解決のために、主体的に考え、行動する力を養うことができる。

2. 博学連携を行う

博物館や図書館など地域施設との連携を行っていく。授業や特別活動の時間において、地域施設を利用し、学習（どんな？具体例を）を行う。また、施設職員の方を学校にお招きして、講演や授業の講師を行っていただく。この活動を通して、生徒が地域とのつながりを実感することができる。また、より多面的で深い学びを実感することができる。加えて、地域と連携して教育を行うことができ、「地域に開かれた教育課程」の実現にもつなげることができる。

これらの活動を通して、ふるさとに目を向け、ふるさとを思い、課題解決のために行動できる人材を育成していく。それにより、島根の将来を担う子どもたちの育成を行っていく。これから様々な困難にぶつかることが予想される。しかし、一人で抱えることなく、同僚の教職員や保護者、地域の方々と連携を行いながら、職務に努めていく覚悟である。

※問題に正対するとともに、人口の減少や少子高齢化などの課題をとらえていること、その課題を踏まえ、地域と連携して教育うことで将来を担う子供たちを育成していく、という視点は素晴らしいです。

解決策もふるさと学習と博学連携も具体的でよいです。添削にあるように具体例を挙げるとさらに説得力のある素晴らしい論文になります。とても良い論文です。

神奈川県では、児童や学校等の実態に応じ、教材・教具や学習ツールの一つとしてICTを積極的に活用し、必要な資質・能力を育成する主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組んでいます。

このことを踏まえ、あなたは、ICT活用の利点を生かした授業実践にどのように取り組みますか。ICTを活用する意義やねらいとともに、あなたの考えを600字以上825字以下で具体的に述べなさい。

必要な資質・能力とは、確かな学力や体力、道徳性等を身に付けることであり、社会の大きな変動に伴い、保護者や国民の間に学校に対して、こうした資質・能力を確実に育成する質の高い教育を求める声が高まっている。

PISA学力調査から、日本の生徒は思考力や判断力、表現力やICTの活用などに課題があることが明らかになった。私はICTを活用し情報活用能力を高めるとともに主体的・対話的で深い学びの授業を通して確かな学力を身に付けさせ必要な資質・能力を育むため以下の取組を行う。

○情報活用能力を高め、確かな学力を育む取組

児童は誰もが探求心をもっている。探求心は新たな知識を開花させ、学びに向かう力へ導く。学力の基盤となる情報活用能力の向上を確かな学力の育成に位置づけ主体的・対話的で深い学びの授業を展開していく。

「神奈川県の魅力再発見」をテーマとしてとして社会科の授業で行う。まず、5～6人のグループをつくり、それぞれ伝統工芸、農産物、交通、史跡文化財等について学校図書館、パソコン等を活用して調べさせる。調べ学習は探求心を引き出す。次に持ち寄った情報の取捨選択を話し合わせ、1グループ5分間のプレゼンテーション資料をつくり、発表させる。情報の整理は思考力と判断力を養い、発表活動は表現力を養う。生まれ育った地域を学習することで郷土愛を育むことも期待できる。

ICTを活用した個人やグループによる調べ学習、意見交換、発表活動は個別最適な学習や協働的な学習の実現で有効な指導法である。こうした学習を通して知識・技能だけではなく思考力、判断力、表現力、課題発見・問題解決能力等確かな学力を向上させていく。(704字)

- 1 論文問題に正対していること。**きちんと問題点や問題点の背景を示しているか。
 - 問題文が求めていることから逸脱してはいけません。
 - なぜそうした問題あるのかその背景を理解し論述する必要があります。
- 2 読みやすい論文であるか。**
書き方のスタイルはありません。
序論（問題文をとらえた論文の方向性）、本論（具体策）、結論のスタイルはとても読みやすいです。
- 3 最初から最後まで読み手が疑問をもつことなく、すっ〜と流れるように読むことができること。**
読み手が途中で頭をひねり、前に戻って何回も読み直してしまうようではいけません。
- 4 問題文に示された問題を解決できる具体策が示されているか。具体的でなければいけません。**
具体策の意義を述べ、具体策を実現する手順が示されているか。
「まず〜する。つぎに〜する。さらに〜する。こうした取り組みによって〜の力が向上する」といった内容だと説得力がある具体策となります。

5 教師としての強い決意で締めくくられているか。

6 一つ一つの文章に力強さがあるか。
誤字、脱字等は減点の対象となり、最大限の注意を払う必要がありますが、一つ一つ力強い文章を示すことが大切です。

避けたい表現例

したい。と思う。大変に。とても。非常に。と思われる。

学力とは何か

- 1 知識・技能
- 2 思考力、判断力、表現力
- 3 課題発見・問題解決能力
- 4 学ぶ意欲、学び方

がんばりましょう！

